

群馬県立歴史博物館 春の特別収蔵品展

いまさらですが… 博物館資料の見かた・楽しみかた ～ついでにハニワも大放し！～

「埴輪の破片はどうやって復元するの?」「何でこの古文書は紙の下半分に何も書かないの?」など、皆さんが抱く疑問に答えながら、博物館資料の見かたや楽しみかた、魅力をお伝えします。また、現在埴輪ブームであることから、国指定重要文化財の「家形埴輪」をはじめ、当館が所蔵する貴重な埴輪を多数展示します。さらに、各時代・各分野の新収蔵品や人気の歴史資料をご紹介します。

展示の見どころ

「掛軸の鑑賞ってどうやるの?」

金井烏洲、松本宏洞、小室翠雲、群馬県に關係の深い三人の近世の画家の作品を展示します。本紙(作品自体)だけでなく、本紙を引き立てる表装の職人技もご覧ください。

「昔の写真は何に使うの?」

大正から昭和時代にかけて撮影された「平田松平・一夫撮影写真」の中から数点を展覧します。戦前の前橋市街地の様子、高度経済成長期の街の風景など、昔の写真から、様々な情報をくみ取っていただければと思います。

「設楽博己コレクション」

本県出身の考古学者である、東京大学名誉教授設楽博己氏のコレクションの一部を展示します。

5月11日(日)は、設楽氏の講演会「考古ボーイのコレクション」と右島和夫当館顧問とのスペシャル対談「考古少年ものがたり～私たちは考古学に育てられた～」を行います。



《松樹図》
小室翠雲
(当館蔵)



《平田松平・一夫撮影写真》
(当館蔵)



《設楽博己コレクション》
(個人蔵、当館保管)

展示の概要

会 期 令和7年4月19日(土)～6月15日(日)

会 場 県立歴史博物館 企画展示室

開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

休館日: 月曜日 (5月5日は開館)

観 覧 料 一般 600 円、大高生 300 円、中学生以下無料

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1人は無料

※特別収蔵品展示と常設展示の両方ご覧いただけます

※取材は随時受け付けますのでご連絡ください。

【問い合わせ先】群馬県立歴史博物館 (担当: 関口・柳澤)

〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町 992-1

TEL. 027-346-5522 FAX. 027-346-5534



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

